



# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM '99 5月号

4月1日付けで、博物館は新しい館長を迎えました。新任の田代義則館長から、市民の皆さんへのメッセージをお届けします。

## ごあいさつ

私は、昭和15年、現在の平塚市中里で生まれ育ちました。昭和20年7月の平塚大空襲の時には、父親におんぶしてもらって、県立商業高等学校（当時は八雲神社の所から湧水があり、小川が流れ、一面の田圃でした）方面に逃げたことを覚えています。また、終戦後は物不足で食事を満足にとることもできませんでした。昭和22年から始まった学校給食は、アメリカからのララ物資による脱脂粉乳でお湯を入れるだけ、現在の牛乳とはほど遠いお粗末な物でしたが、当時は空腹を満たす食物なら喜んで食べたものです。その当時、花水川でしじみをバケツに約1升くらい取り、母親に喜ばれたこともありました。遊びの中で物を得て、家の人に喜ばれ、得意になっていたものです。

昭和38年、平塚市役所に入所以来、35年が経過しました。平成10年度はスポーツ振興財団に勤務していましたが、世の中もよい方になってきたと感じました。例えば、財団主催のフィットネス教室には毎回500～600人の主婦の方が、健康づくりを目的に参加しています。主婦に与えられた余暇の有効活用ですね。

この4月の人事異動で博物館勤務を命じられました。初めての仕事ですが、楽しくやらせて頂きます。ところで、博物館では年間を通して、展示活動や館内外の行事を盛りだくさん計画しており、学芸員が専門の立場から楽しく分りやすい企画を立てて、皆さんの参加をお待ちしております。よろしくお願いいたします。

館長 田代 義則



## 新刊行物の紹介

### 「年報22号」 (B5判58ページ・頒価500円)

平成9年度の博物館の活動報告です。博物館で、1年間にどんな調査がされたか、どんな行事が開かれたか、どんな資料が寄贈されたかなどの情報を総覧することができます。今号では、特に昨年5月にオープンした2階の展示替えについて詳しく紹介しています。博物館の運営に興味を持たれている方には、役立つ資料になるでしょう。

### 「動物資料目録2」 (B5判148ページ・頒価800円)

博物館の収蔵室に保管されている昆虫標本の目録です。今回は、ナナフシ・キリギリス・バッタ・ハサミムシ・カメムシ・アリなどが取り上げられ、約5000件のデータが紹介されています。内容は、採集された場所・日・環境・採集者・寄贈者などが羅列されているだけですが、それぞれのグループや種類に興味のある方にとっては、貴重なデータベースになるものです。また、この目録を手がかりに標本の閲覧を申し込むこともできますので、ご利用ください。

博物館の刊行物のお求めは、博物館受付へどうぞ！

### みんなで調べよう 平塚のカタツムリ



石垣をはうミスジマイマイ

梅雨と言えばアジサイの葉の上にカタツムリ。かつては、どこの家の庭でもそんな光景を目にしたものです。ところが、いつのまにか身近でカタツムリを見かける機会がすっかり減ってしまいました。その原因は、市街地は乾燥しがちなので湿った環境を好むカタツムリには住みにくくなったためとも、石灰質の殻を持つ動物には酸性雨が悪影響を与えているためとも言われていますが、はっきりしたことは分かっていません。

今年の「みんなで調べよう」では、このカタツムリをテーマに取り上げ、市内のどこにどんな種類のカタツムリがいるか調べてみることを計画しました。博物館では、今までタンポポ、セミなどをテーマに取り上げ、それぞれ「タンポポ地図」「セミのぬけがら地図」などを作って来ましたが、今回は「カタツムリ地図」を作ろうというわけです。

市内では、一番たくさん見られて親しまれているミスジマイマイのほかに、左巻きをしているのが特徴的なヒダリマキマイマイ、畑等にすんでいて殻の薄いオナジマイマイとニッポンマイマイなどが記録できるはずですが。細長くて煙管の形に似ているところからその名があるキセルガイも探してみたいと思います。また、観察会ではふだん気づかないような落ち葉の下のゴマ粒くらいの大きさの小さな貝も紹介する予定です。

調査は、カタツムリを探し、名前が分からないものはしばらく飼ってまとめの時に持ち寄るというやり方で進めたいと考えています。市内全域を2年間で調べる予定ですが、広く情報を集めるには多くの協力者が必要です。特に予備知識がなくてもできる簡単な調査ですから、ふるってご参加ください。

なお、日程などは4ページをご覧ください。

(担当：浜口)

## 野外観察会「県内初の銅の鉱物のみよう」開かれる

.....

神奈川県内で初めて、秦野市菖蒲で自然銅が見つかったことから、春期特別展「暮らしの中の鉱物」の関連事業として野外観察会「県内初の銅の鉱物のみよう」を4月4日に実施しました。現地は織戸組の採石場で、株織戸組に全面的にご協力をいただきました。最初に地層の解説と、採集される鉱物の説明を行った後、参加者各自が観察と採集を行いました。参加者は25名で、鉱物に関心のある方が多く集まり、熱心にハンマーを振るい、自然銅や沸石類の観察と採集を行いました。

一般的に銅の鉱物は、銅が硫黄分と化合した硫化銅（鉱物名では黄銅鉱・輝銅鉱・斑銅鉱など）として産出し、銅Cuそのものからなる自然銅は限られた場所からしか産出していません。自然銅は銅鉱床の上部の酸化帯に形成されたり、変成岩中に見られる場合がほとんどで、今回見いだされたような溶岩中での産出は大島・三宅島などでしか見つかっておらず珍しいものです。

秦野の自然銅は無名会という鉱物サークルの会員である前島利隆氏が、横須賀市の造園業店にある石材から見つけ、その石材がどこから運ばれたものであるかを調べて分かったものです。

この秦野の自然銅は、海底火山の噴火による玄武岩溶岩が水に冷やされて破碎されたハイアロクラスタイ

トという岩石中の玄武岩溶岩礫に、細い脈状ないし小粒状に含まれていました。玄武岩の気泡を埋める束沸石などと密接に関係していて、束沸石の晶出と相前後して自然銅が晶出しています。

溶岩の気泡や脈を埋める鉱物には、束沸石・菱沸石・スコレス沸石・濁沸石などの沸石類、葡萄石、方解石などが認められました。気泡や脈の最も外側に束沸石がみられることから、束沸石が最も早く晶出したことが分かります。束沸石は無色～白色の塔婆状の鉱物で根元が束ねられたようになっています。気泡や脈の最も内側には、白濁した濁沸石がみられました。これはこの濁沸石が最も最後に晶出したことを示しています。濁沸石は先端を斜めに切った柱状の結晶をしています。濁沸石は水分がとんでしまったために白濁しているのが普通です。方解石はその濁沸石よりも後期に晶出しており、菖蒲のものには犬牙状にとがったものがみられました。

こうした産出状況から考えると、丹沢が海底火山としてはるか南方に位置していた頃、玄武岩溶岩の噴出直後に、残ったマグマから自然銅や沸石などが晶出したものと考えられます。この場所は神奈川県の地質図では丹沢層群大山亜層群本谷川層に区分されており、約1500万年前頃の地層と推定されています。

（担当：森）



自然銅を観察する参加者



自然銅を産出した地層

# 博物館カレンダー

## 1999年5月

1	土	☆	寄贈品コーナー「自然新資料」 (～6月6日)	展示室
2	日		民俗探訪会	野 外
7	金		古文書講読会	講 堂
8	土	◎	漂着物を拾う会	虹ヶ浜
			天体観察会「火星」	函 南
		☆	プラネタリウム「ヘルクレスの冒険」 (～6月6日)	プラネ室
9	日		地質調査会	特研究室
13	木		石仏を調べる会	特研究室
14	金		古文書講読会	講 堂
15	土	○	自然観察会「公園の自然」	大 原
			地質調査会	野 外
16	日	◎	ろばたばなしの会	展示室
19	水		裏打ちの会	科学室
			地質調査会	特研究室
			プラネタリウム「幼稚園投影」 (～7月9日)	プラネ室
20	木		展示解説ボランティアの会	特研究室
21	金		古文書講読会	講 堂
		◎	星を見る会「月と金星」	屋 上
22	土		空襲と戦災を記録する会	特研究室
23	日		相模川の生い立ちを探る会	白石沢
27	木		石仏を調べる会	特研究室
28	金		古文書講読会	講 堂
29	土	○	みんなで調べよう「カタツムリ」	科学室
30	日		古代遺跡を探す会	野 外

## 1999年6月

4	金		古文書講読会	講 堂
6	日	○	みんなで調べよう「カタツムリ」	野 外
			地質調査会	野 外
8	火		全館燻蒸(6月17日まで休館!)	全 館
13	日		民俗探訪会	野 外
18	金		古文書講読会	講 堂
		☆	寄贈品コーナー「戦災と空襲」 (～7月30日)	展示室
19	土		天体観察会「惑星」	屋 上
		☆	プラネタリウム「アポロから30年」 (～7月11日)	プラネ室
20	日	◎	ろばたばなしの会	展示室
			相模川の生い立ちを探る会	西丹沢
23	水		地質調査会	特研究室
24	木		石仏を調べる会	特研究室
25	金		古文書講読会	講 堂
26	土	○	こども観察会「アオバト」	照ヶ崎
			地質調査会	科学室
			空襲と戦災を記録する会	特研究室
27	日		古代遺跡を探す会	野 外

### 休館のお知らせ

全館燻蒸のため、下記の期間を休館します。  
この間は展示が見られませんので、ご注意ください。

休館/6月8日(火)～17日(木)

### ☆寄贈品コーナー「自然新資料展」

平成10年度に寄贈された自然分野の資料を紹介します。会期：5月1日(土)～6月6日(日)

### ☆プラネタリウム

「ヘルクレスの冒険&フリートークプラネタリウム」

ヘルクレス座のギリシャ神話と、日替りの話題で投影します。

期間：5月8日(土)～6月6日(日)

投影日時：土日曜日の11時と14時

観覧料：100円

### ◎ろばたばなし

相模地方の伝説と日本の昔話を語ります。

日時：5月16日(日)午後1時30分と3時

場所：1階展示室民家内 参加：自由

### ◎星を見る会「月と金星を見よう」

日時：5月21日(金)午後7時～8時30分

場所：博物館屋上(1階科学教室へ集合)

参加：自由 \*曇天時中止

### 参加者募集

#### ○みんなで調べよう「平塚のカタツムリ」

すっかり少なくなったカタツムリの分布を、みんなで手分けして調べます。

日時：5月29日(土)午後 ガイダンス

6月6日(日)野外観察

7月4日(日)午後 まとめ

〆切：5月20日

#### ○こども観察会

丹沢から照ヶ崎海岸に飛来するアオバトの群を観察します。

日時：6月26日(土)午後 〆切：6月10日

定員30名(小中学生と保護者に限る)

=上記の行事の申込方法=

往復ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、博物館各係へ。

☆：展示とプラネタリウム ◎：自由参加

○：申込制 その他：年間会員制

あなたと博物館 24巻2号通巻268号 発行 平塚市博物館 3000

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel.0463-33-5111 Fax.31-3949